

# 令和6年度 施設としての自己評価

瀬名おひさまの森保育園

平素は瀬名おひさまの森保育園の運営にご理解ご協力いただきまして、ありがとうございます。  
以下の通り、園の自己評価を付けました。今後一層より良い園になるよう職員一同努力してまいります。

【1】どちらかというときできていなかった 【2】どちらかというときできていた 【3】ほぼできていた 【4】よくできていた

年目標	自己評価	内容
<b>●保育内容(今年度の重点)</b>		
<b>・愛着についての理解と愛着形成の実践</b>	4	子どもをとりまく環境のすべてを保育者が理解し、個々に関わることで人への信頼感が育まれるよう愛着関係を重視した。0歳児は欲求を繰り返し受け止められることで愛着を育み、1歳児は安心できる保育者のもとで安定した保育ができるよう0歳児からの持ちあがり担任とした。2歳児は保育者に主張を受け入れられ、納得できるまで人と関わることで信頼感を育んだ。
一人ひとりの子どもとの関係を深め、安定的な愛着が育まれるよう実践する。		
<b>・子どもの意欲を伸ばす声掛けの検討と実践</b>	3	昼礼や会議などで子ども達の育ちを通して、今どんな言葉かけが必要であり適切かを話し合い実践した。また、不適切保育の研修を行いながら、子どもを尊重できていない言葉かけはないかを振り返る時間を設け職員で意見を出し合った。
その子にとっての最善な言葉選び、タイミングを職員間で検討し実践する。		
<b>●施設設備</b>		
<b>・保育室環境について</b>	3	玩具や物の配置が発達に見合ったものになっているか、保育に活かせる環境になっているかなど、様々な角度から多角的に捉え、安心・安全、かつ魅力的になるよう考え、その時々で変化させていった。
子どもの育ちに合った、安全で快適な環境を保つ。		
<b>・園周辺環境の活用について</b>	4	各公園の特徴を把握したり、土手や水路にはどんな草木、生物がいるかなどを知ったうえで子どもの発達や興味にあったものを取り入れた。また、季節の変化に気づけるよう落ち葉や木の实など手に触れて感じられる機会を作った。地域の方の畑を見せていただき農作物を触らせていただくこともあった。
地域を探索し環境知識を深め、発達を促すことのできる環境であるか見直す。		
<b>●保健・衛生</b>		
<b>・感染症対策について</b>	4	市からの情報や感染症ガイドラインを基に、子どもの命を最優先に考え予防と感染拡大防止の対策を徹底して行った。保護者に大事な情報をわかりやすく明確にお伝えできるように、掲示物や口頭でのお伝え等伝え方を工夫した。手洗い、消毒なども習慣化し安心して生活できるよう努めた。
職員が共通認識をもち、予防と拡大防止に努められるよう対策を明確に示す。		
<b>●運営</b>		
<b>・行事のありかたについて</b>	4	行事を行うことで子どもにもたらす育ちを職員間で話し合い、意味、意図をもって取り組んだ。行事の日だけを楽しむのではなく、その日が楽しみになるような事柄を日々の保育や生活に取り入れ行事当日までが繋がりのあるものとした。また、給食の行事食メニューにも意味を持ち食への興味も育んだ。
行事がもたらす意味と価値を踏まえ、子どもの育ちが感じられる行事を検討する		
<b>・保護者との連携体制について</b>	3	家庭で大事にしていることは何かを聞きとり、想いを知り保育者も理解することで互いの役割を果たせるよう共通認識をもてるようにした。またその人だからその関わりを見いだし子どもの育ちに貢献できるようにした。
日頃のコミュニケーションを密に行い、生活状況や考え方への理解を深め、協力して子どもを育てる体制をつくる。		
<b>・危機管理について</b>	4	市からの情報や事例を職員間で確認し、日々の行動を見直し検討、改善していった。緊急事態に備えてミーティング等でシミュレーション訓練を行った。不審者情報があった場合は保護者にも共有し、送迎時の注意喚起や施錠の徹底を行った。防犯スプレーの設置、緊急通報ボタンの数の増加、玄関外の防犯カメラ設置を行った。
市からの情報や事例を活用し、防犯対策や災害発生時の対応を見直す。		

## 【総評】

平素より園へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。  
今年度も保育理念のもと、園に通っているからこそその育ちを応援して参りました。初めての出会い、初めての場所、初めての経験からたくさんのご意見を発見し、学んでいく子どもたち。自分で見て、触れて、考えて学んできたからこそ今日がある。そんな日々を送って来られました。保護者様におかれましては子育てについての悩みや、一緒にサポートしていただけることなどたくさんお話いただきました。またお子さまの成長と一緒に喜び合うことができたこと嬉しく思うと同時に大切なお子さまを自園にお預けいただけましたこと心より感謝いたします。  
今後もこの園を選んで良かったと思っていただけよう地域の皆様の一員として日々精進してまいります。今後ともよろしく願いいたします。

令和7年3月1日  
園長 青木聖乃